

週明けの日経平均は 3 営業日、NY ダウは 4 営業日続落 横山 泰史

業種: 日本株ストラテジー

約 1 ヶ月半ぶりの安値

週明けとなった昨日の東京市場では、先週末の軟調な米国市場と円高ドル安が嫌気されて、日経平均は前週末比▼289円(▼1.0%)の2万7237円と3営業日続落と約1ヵ月半ぶりとなる安値で終えた。業種別騰落率では、国内の長期金利が上昇する期待の高まりから銀行(前週末比+1.1%)が買われ、円高ドル安からパルプ(同+1.0%)、水産(同+0.1%)など輸入関連のセクターが上昇率の上位、下落率が大きかったものに鉱業(同▼2.8%)、海運(同▼2.0%)、精密機器(同▼1.6%)などがあつた。個別銘柄では、前週末に発表された22年3-11月期の決算で売上高が好調であった西松屋チェーン(前週末比+6.0%)が大幅高、他には日立造船(同4.4%)、佐島電機(同+4.1%)などが買われた。一方で、日本産業パートナーズを中心とした買収金額が当初の見通しを下回る可能性があるとの報道された東芝(同▼6.8%)が売られ、円高ドル安が嫌気されてマツダ(同▼3.1%)、ダイキン(同▼2.9%)などが安い。

金利上昇が嫌気される

現地19日の米国市場では、利上げが長期化することによる景気後退への懸念からNYダウは前週末比▼162ドル(▼0.4%)の3万2757ドル、ナスダックは同▼159ポイント(▼1.4%)の1万546ポイントとともに4営業日続落で終えた。個別銘柄では期待されていた「アバター」続編の収入が市場予想を下回ったとの報道からディズニー(前週末比▼4.7%)が売られた。アマゾン(前週末比▼6.3%)、メタ(同▼4.1%)、ブロック(同▼3.3%)、オクタ(同▼3.7%)などIT関連銘柄が安い。WTI原油先物は前週末比+1.2%の75.19ドル、米10年債利回りは前週末比+0.10%の3.59%で終えた。

今日の予定

現地19日のシカゴ日経平均先物は先週末比▼50円の2万7170円で終了、今朝のドル円は1ドル136.80円程度(7:10時現在)で推移している。今日は国内では日銀金融政策決定会合の結果公表、11月の訪日外国人客数の発表、海外では11月の米住宅着工件数の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/12/19 現在

日経平均	2万7237円
プライム売買代金	2兆3596億円
プライム時価総額	694兆3351億円
日経平均予想 PER	12.5倍
日経平均 PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

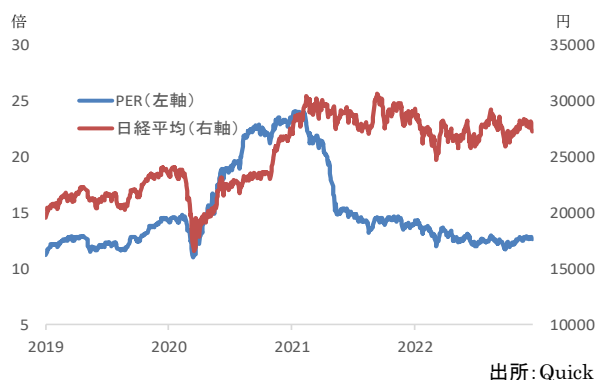
国内株式売買代金ランキング

2022/12/19 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼4.1%
2 ファーストリテイリング	▼1.1%
3 三菱 UFJFG	1.4%
4 日本郵船	▼2.2%
5 ソフトバンクグループ	▼0.5%
6 トヨタ	▼1.5%
7 東京エレクトロン	▼1.5%
8 三井住友 FG	1.2%
9 任天堂	▼0.9%
10 商船三井	▼2.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa